



障害があっても堂々と生きられる社会をつくる 株式会社華ひらく 代表取締役 内木 美樹様

はじめまして。カラフルモデル（障害のあるキッズモデル）のマネジメントをしております、華ひらくの内木と申します。この度は卓話の機会をいただき、誠にありがとうございます。

「障害のあるキッズモデル」と聞いて良い印象を持たない方もいらっしゃるかと存じます。しかし、私たちは障害があっても堂々と生きられる社会を目指して活動しております。本日はこの場をお借りして、私たちの想いや活動内容を知っていただきたく参りました。

弊社が当事業を始めた背景は3つあります。1つ目は、日本の障害者が急増している事です。内閣府が出している障害者白書によりますと、2011年には約800万人だった障害者は、2024年には約1200万人にまで増えました。このように聞くと悪いニュースに感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし見方を変えれば、障害と言うマーケットが非常に伸びしろのある分野であるともいえます。私たちは、障害を福祉の対象ではなく、可能性を秘めた経済分野である事を証明したいと考えています。

2つ目は、障害者やその家族が抱える生きづらさです。私の長男（11）には重い障害があります。そして子どもに障害があると、「周りにご迷惑をかけてはいけない」という思いから、スーパーや公園のような日常的な場所ですらも堂々と行けなくなります。その原因は、健常者と障害者の接点の少なさだと考えています。学校も職場も別。皆様の中で、日常的に障害者と接する機会のある方の方が少ないのではないのでしょうか。その接点の少なさは、私たちの生きづらさに直結します。

3つ目は、国連からの勧告と海外の動向です。日本は再三に渡って、国連からインクルーシブ教育の確立や施設から地域生活への移行を求められているにも関わらず、亀の歩みです。これも、上記の接点の少なさが原因と考えています。障害者がどういう人たちかを知らず、知る機会もないので、受け入れが難しくなっているのです。一方で欧米では、グッチがダウン症のモデルを起用したり、セサミストリートに自閉症のキャラクターが登場したりと、障害者を前に出す動きが加速しています。そうする事で、障害者もいる社会が当たり前になるからです。

このような課題を解決する方法として、2021年に「カラフルモデル」を、2024年には「障害児から学ぶ企業研修」を始めました。広告モデルや研修の講師として障害児が前に出る事で、障害児を見る・障害児とふれあう機会が増えます。すると知識や理解が広がり、企業は障害者やその家族も来店しやすいような街づくりに励みます。その結果、障害があっても堂々と生きられる社会が出来上がると考えています。

この流れは決して、障害者や家族だけにメリットがあるわけではありません。このように障害者を起用する事で、企業は「我々は障害をお持ちの方の事も考えている」というメッセージになります。そうする事で障害者やその

関係者のファンが増え、同時に健常者の応援者も増加し、企業イメージが向上します。このムーブメントは、欧米では何年も前から始まっています。その波を日本でも起こしたいのです。

このようなお話をすると、多くの方は「障害児が一般のキッズモデルのようにできるのか？」と疑問を投げかけます。結論から申し上げますと、できません。カラフルモデルの多くは、知的や発達に障害を持っていますので、人の指示を理解する・企画書を読むという能力は長けていません。しかし、この子たちならではの魅力があります。それは、純度100%の笑顔です。カラフルモデルは大人に付度をしません。空気も読みません。楽しければ思いっきり笑い、嫌であれば全力で拒否します。そんなモデルたちが見せてくれる表情は、嘘偽りのない、ありのままの魅力に溢れています。

また、障害児から学ぶ研修に関しましても同様の事が言えます。多様性は机上で学べるものではありません。多様な人とふれあい、多様な価値観を肌で感じる事で習得できます。弊社の研修は、障害児と企業の従業員が一緒に遊び、ご飯を食べます。しかも、講師である障害児は言葉による会話が難しい子ばかりです。そのような非日常の体験をしていただく事で、従業員の視野が広がり、多様な考えに柔軟になり、やさしい人財が育っていくと考えています。

2025年1月現在、弊社には約50名のカラフルモデルが在籍しています。お陰様で、テレビや新聞、ラジオなどメディアでも何度も取り上げていただいています。しかし、それでもまだ接点は明らかに足りていません。

そこでこの度、東京渋谷 RC の岡本さんご協力のもと、RCの方々や弊社のモデルと一緒に東京ディズニーランドで遊ぶ企画を考えました。障害児と遊園地に行く場合、大人の数は1では不十分です。よって、皆様にはチャリティ・ボランティアとしてご参加いただき、障害児とその保護者が夢の国で存分に楽しめるよう、見守っていただければと思います。日程や金額などの詳細はお配りしたチラシにございます。皆様のご参加、お待ちしております。

繰り返しになりますが、この度はこのような機会を本当にありがとうございました。

